

北海道大学病院呼吸器内科・腫瘍内科に過去に通院・入院された患者さん またはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 男性呼吸器がん患者におけるシスプラチニン誘発性吃逆の発症に影響を与える因子の探索

[研究代表機関名・長の氏名]

北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究代表者名・所属]

菅原 満・北海道大学病院 薬剤部長

[共同研究機関名・研究責任者名・機関の長の氏名]

北海道科学大学 薬学部 教授 斎藤 佳敬・機関の長：川上 敬

[研究の目的]

以前に実施した研究で呼吸器がんの治療で使用するシスプラチニン治療による出現する吃逆(きつぎやく、しゃっくり)は男性で出現しやすいことが明らかとなりました。今回は、男性患者さんにおける、その出現に影響する因子を探します。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

呼吸器がんのシスプラチニン治療による吃逆について調べた先行研究（生024-0258）「アプレビタントおよびパロノセトロン併用時のシスプラチニン誘発性吃逆の発症に影響を与える因子の探索」に登録された方（2014年5月1日から2024年12月31日までの間に北海道大学病院呼吸器内科あるいは腫瘍内科に通院又は入院し、呼吸器がんに対してシスプラチニンを含む化学療法ならびに吐き気止めとしてアプレビタント・パロノセトロン・デキサメタゾンの投与を受けた18歳以上の方）のうち、男性の方。

○利用する情報

上記の先行研究で保管した下記の情報を利用します。

シスプラチニンおよび併用抗がん薬の投与量、治療スケジュール(中止・延期・減量の有無)、支持療法（副作用コントロール）薬の内容、治療回数、放射線の併用有無、治療開始時、治療中の検査データ結果(腎機能、電解質、白血球数、好中球数、ヘモグロビン値、血小板数、肝機能、血清アルブミン値、CRP)、治療開始時、治療中の身体情報(年齢、性別、身長、

体重、喫煙歴、飲酒歴、診断名、パフォーマンスステータス（全身状態）、呼吸器がんの病期・組織型・転移の有無・治療歴(放射線、手術含む)、合併症、処方内容、処置内容、吃逆の出現・重症度、出現時期及び期間、併用薬、治療に伴う吃逆以外の有害事象

○送付方法

この研究は、上記の研究機関で実施します。上記のカルテ情報は、研究結果の解析のために、エクセルシートに纏めパスワードをかけたファイルをメールで北海道科学大学へ送付するかUSBで手渡しし、解析を行います。

[研究実施期間]

実施許可日（情報の利用開始：2026年1月頃）～ 2027年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目
北海道大学病院薬剤部 担当 谷口 理
電話 011-706-5683 FAX 011-706-7616

[北海道科学大学の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1
北海道科学大学薬学部 担当 斎藤 佳敬
電話 011-676-8741